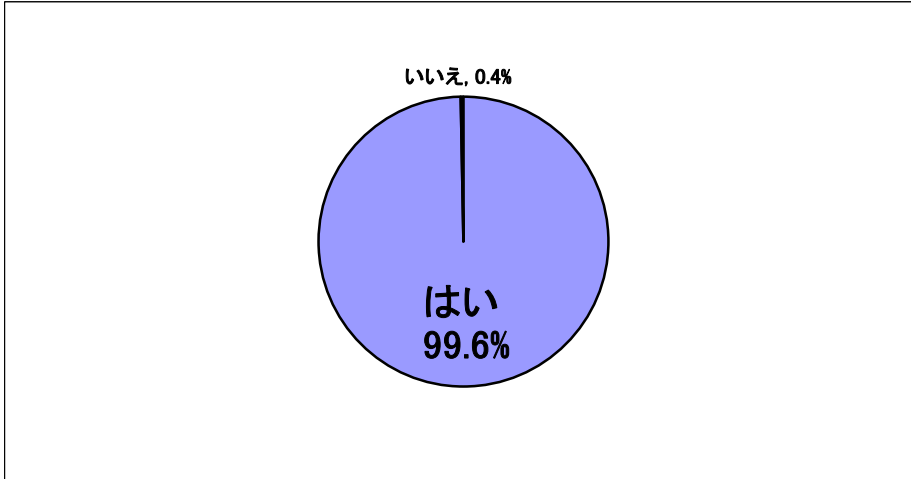


【1年間の高濱授業を振り返って 生徒アンケート概要(1～6年生)】

青木小学校 全校生徒アンケート結果(2009年4月実施)より
2009年7月16日

2006、2007年度に引き続き、2008年4月から2009年3月にかけて、月に一回のペースで長野県青木小学校にて「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ということを目的とした、高濱正伸の授業が行われた。以下は、1年間の授業後に実施された、全校生徒アンケートの概要である(回答数229名)。

◆たかはま先生の授業は楽しかったですか？



まず、授業の楽しさに関しては、左のグラフの通り、99.6%もの生徒が「楽しかった」と回答している。

2006年度は同割合が97.4%、2007年度は98.0%という結果であり、3年続けて97%以上の子どもが高濱の「思考力を伸ばす授業」を「楽しい」と回答をしている。このことから、例年、生徒満足度が非常に高いことがわかる。

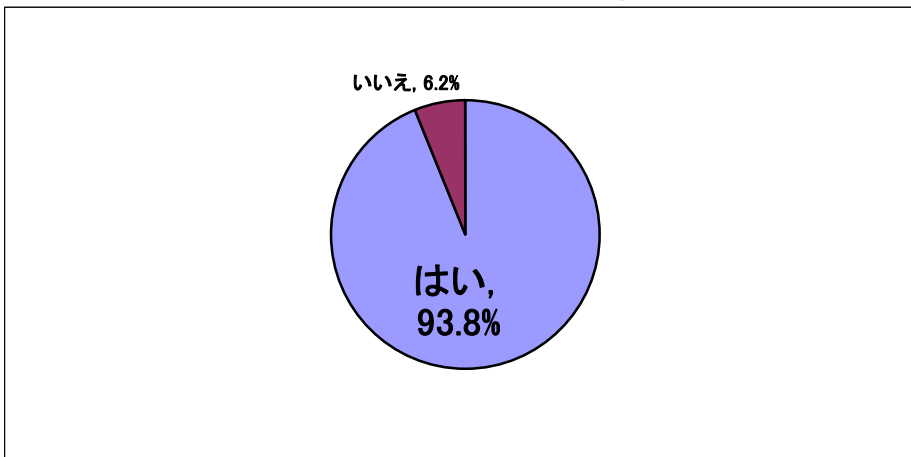
回答	人数(人)	%
1 はい、とっても楽しかった。	164	71.9%
2 はい、楽しかった。	53	23.2%
3 はい、どちらかと言えば楽しかった。	10	4.4%
4 いいえ、どちらかといえばつまらなかった。	1	0.4%
5 いいえ、つまらなかった。	0	0.0%
6 いいえ、とってもつまらなかった。	0	0.0%

※回答1, 2, 3を「はい」に分類

※回答4, 5, 6を「いいえ」に分類

(無効回答1名)

◆たかはま先生の授業をうけて成長したと思うところがありますか？



次に、楽しいだけではなく、成長したかどうかという設問にも、93.8%もの生徒が授業を受けて、「成長したところがある」と答えている。

2006年度、2007年度においても、それぞれ、92.3%、91.9%という結果が出ており、3年連続、9割以上の子どもが「成長したところがある」と答えていることから、子ども達自身が高濱授業の有用性の高さを感じていることがわかる。

回答	人数(人)	%
1 はい、とても成長したと思うところがある。	67	29.6%
2 はい、成長したと思うところがある。	102	45.1%
3 はい、どちらかと言えば成長したと思うところがある。	43	19.0%
4 いいえ、どちらかと言えば成長したと思うところはない。	8	3.5%
5 いいえ、あまり成長したと思うところはない。	3	1.3%
6 いいえ、まったく成長したと思うところはない。	3	1.3%

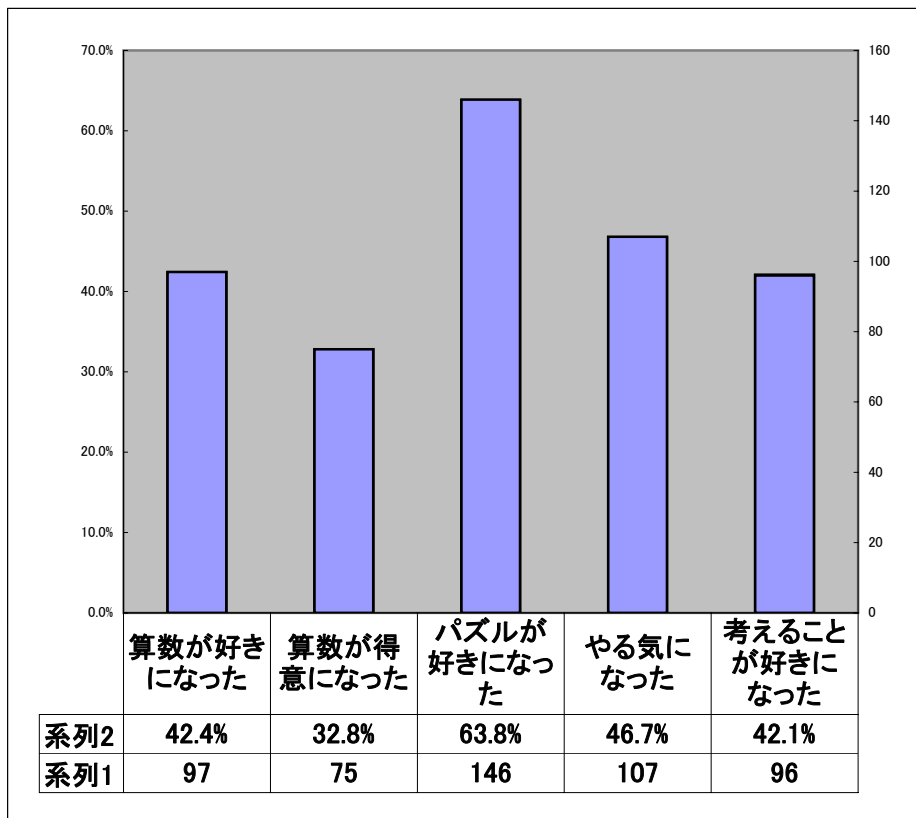
※回答1, 2, 3を「はい」に分類

※回答4, 5, 6を「いいえ」に分類

(無効回答3名)

◆算数が好きになった&得意になった、などのプラスの効果はありますか？

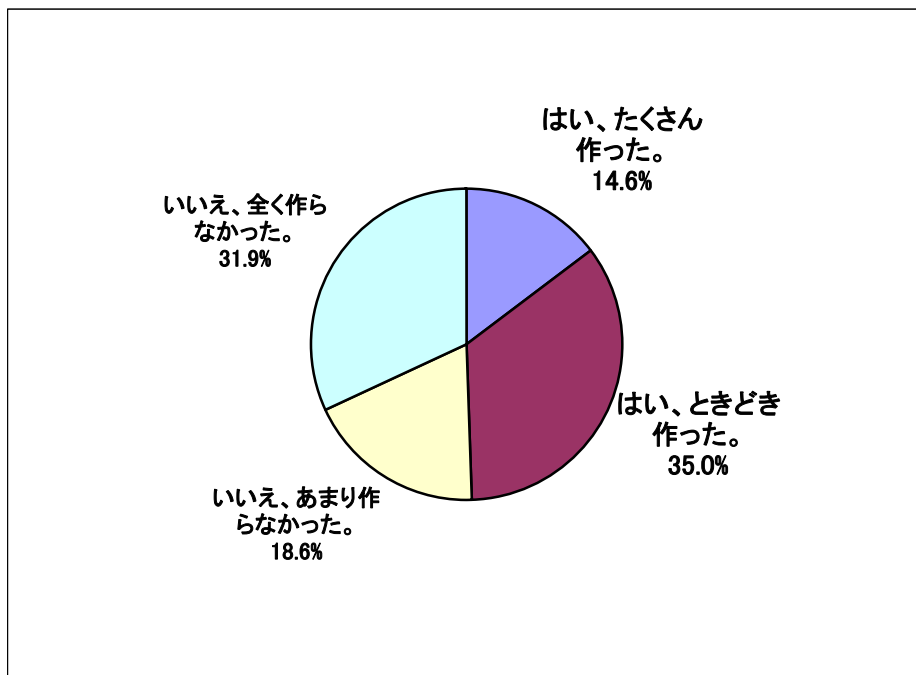
(授業を受けて「成長した」と答えた人の中での複数回答)



そして多くの子が、成長しただけではなく、
「算数が好きになった」
「算数が得意になった」
「パズルが好きになった」
「やる気になった」
「考えることが好きになった」
と、高濱授業を受けてのプラスの効果을回答している。

例年、約、3・4割の子が、高濱の月1回の授業を受けて、算数が好き&得意になった、考えることが好きになった、と答えていることから、子ども達の気持ちの面で、高濱授業は大きな効果があるとと言えるだろう。

◆この一年間で、あなたは手づくりパズルを作ってみましたか？

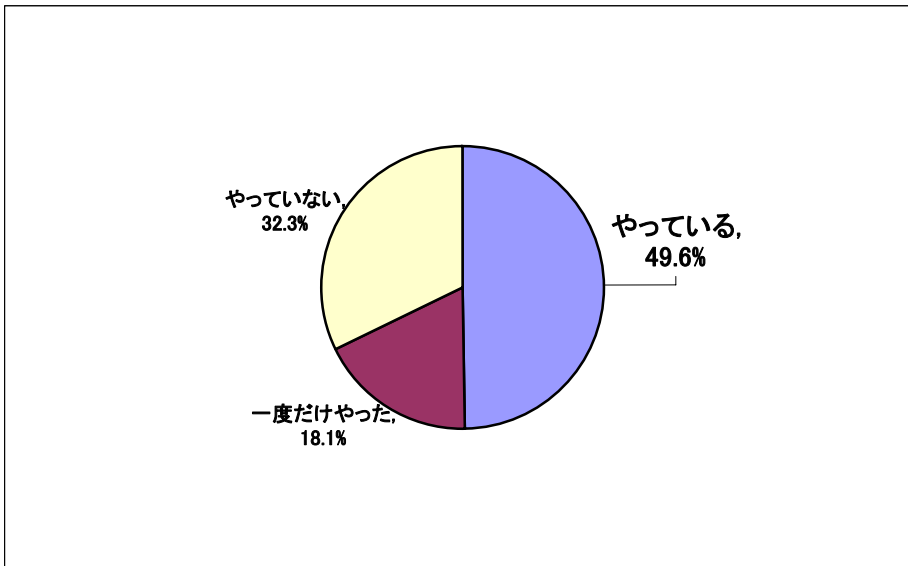


昨年度に引き続き、日常的に思考力を伸ばすという主旨のもと、子ども達に「手づくりパズルをつくろう!」という呼びかけを行った。
考える力とは、一朝一夕に身に付くものではなく、日常的な習慣とすることが重要である、との考えからである。
担任の先生のご協力のおかげで、昨年度より、「たくさん作った」と回答している子達は、9.3%から14.6%までに伸びた。「日常的に楽しみながら考える力を伸ばす」一環として、子ども達の間、問題をつかって出し合う、という切磋琢磨の文化が根付くことを期待している。

回答	人数(人)	%
1 はい、たくさん作った。	33	14.6%
2 はい、ときどき作った。	79	35.0%
3 いいえ、あまり作らなかった。	42	18.6%
4 いいえ、全く作らなかった。	72	31.9%

(無効回答3名)

◆たかはま先生の授業でやったことを、家に帰ってからしたことはありますか？

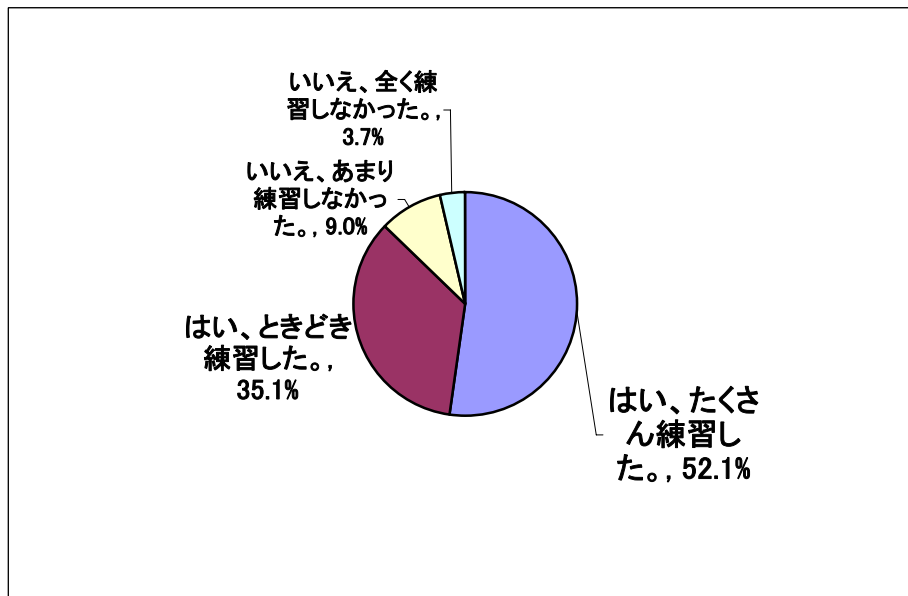


一方、左の結果を見てみると、高濱授業は子ども達にとって「楽しく」「成長するもの」であり、「算数が好き＆得意」になったり「やる気」になったりするものであるが、家庭での取り組みは、例年微増にとどまっている。

回答	人数(人)	%	
1 はい、家に帰ってから家族の人に説明していつもいっしょにやっている。	17	7.5%	※回答1, 2. を「やっている」に分類
2 はい、家族と、たまにいっしょにやっている。	95	42.0%	
3 はい、家族と一度だけやったことがある。	41	18.1%	※回答3. を「一度だけやった」に分類
4 いいえ、やろうと思ったことはあるけど、やったことがない。	33	14.6%	
5 いいえ、やったことがない。	28	12.4%	※回答4, 5, 6を「やっていない」に分類
6 いいえ、やったことがないし、やろうと思ったこともない。	12	5.3%	

(無効回答3名)

◆昨年度の授業の中で、漢字検定もおこないました。この一年の中であなたは花まる漢字検定に向けて練習をしましたか？



今年度(2008年度)の大きな成果の1つとしては、花まる漢字検定の実施が挙げられるであろう。担任の先生方の多大な協力のもと、子ども達自身が目標を持って取り組み、記述回答結果からも、多くの子が検定に合格するために漢字の練習を積極的に行い、その結果、努力の結果が目に見えたことに満足している様子が伺える。

「考える力」の育成と共に、基礎学力向上のための漢字検定は、公教育に寄与できる花まるメソッドの1つであると考えられる。

回答	人数(人)	%
1 はい、たくさん練習した。	98	52.1%
2 はい、ときどき練習した。	66	35.1%
3 いいえ、あまり練習しなかった。	17	9.0%
4 いいえ、全く練習しなかった。	7	3.7%

(無効回答37名 * 1年生は漢字検定を実施していないため)

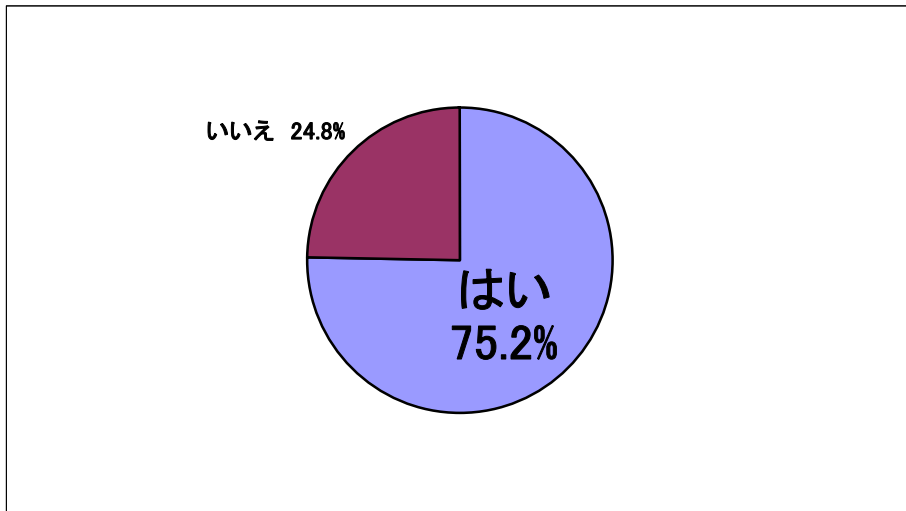
* 続く保護者アンケートも参照のこと

【1年間の高濱授業を振り返って 保護者アンケート概要】

青木小学校 保護者アンケート結果(2009年4月実施)より
2009年7月16日

2006、2007年度に引き続き、2008年4月から2009年3月にかけて、月に一回のペースで長野県青木小学校にて「考えることを好きになってもらう。考える力を伸ばす」ということを目的とした、高濱正伸の授業が行われた。以下は、1年間の授業後に実施された、保護者アンケートの概要である(回答数164名)。

◆今年度も引き続き、子ども達の「考える力の育成」のために、学校やご家庭での「手づくりパズル」運動を推進していたことを、ご存知でしたでしょうか。

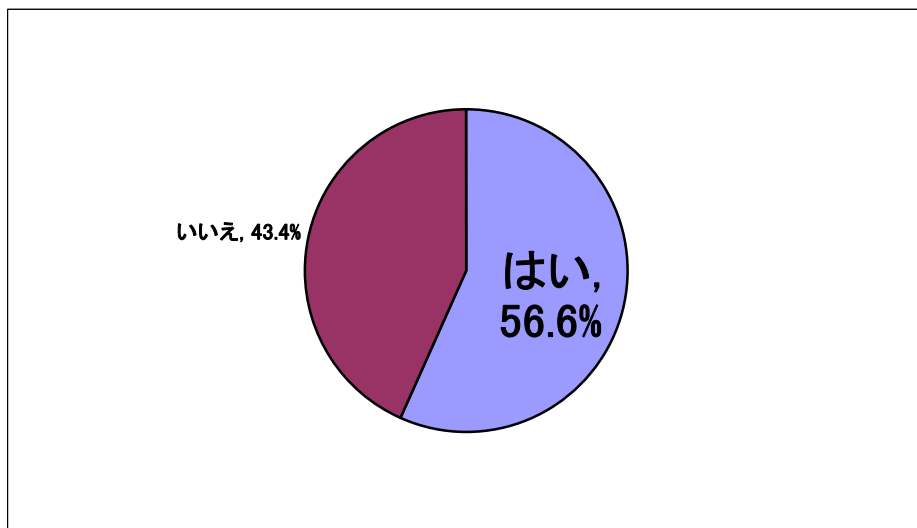


2007年度に引き続き、2008年度も子ども達の恒常的な「考える力の育成」のために、学校やご家庭での「手づくりなぞぺー(パズル)運動」を推進した。グラフの通り、75.2%のご家庭がこの活動をご存知であると回答した。昨年度は、63.9%という回答だったので、昨年度よりは、12%ほど認知度が上がっていることがわかる。

回答	人数(人)	%
1 はい。	121	75.2%
2 いいえ。	40	24.8%

(無効回答3名)

◆実際に、子ども達が手づくりのパズルを行っているのを、ご覧になったことはありましたか？



各家庭での、生徒が手づくりなぞぺー(パズル)を行っているのを見たことがある方も、昨年度は50.9%だったのが、今年は56.6%と、やや微増という結果となった。

2年目ということもあり、少しずつ、ご家庭での認知度も高まっているようである。

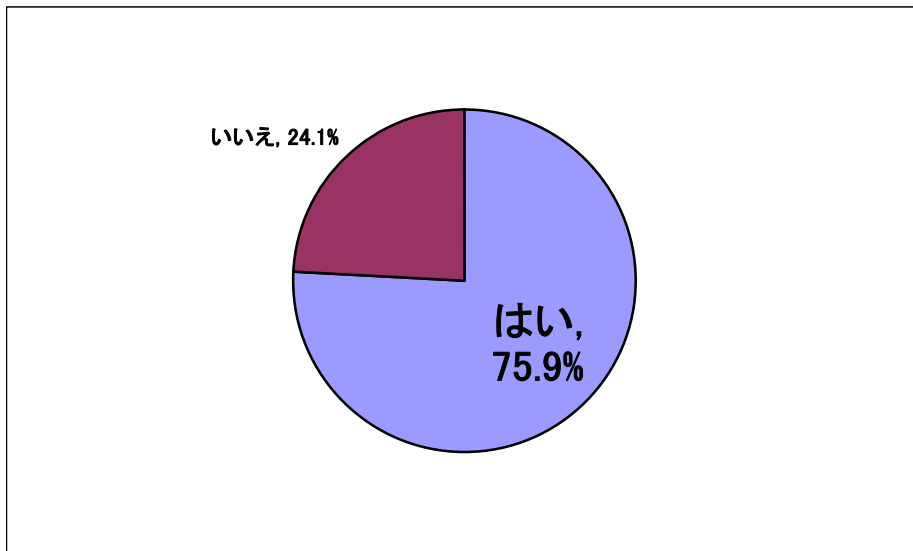
回答	人数(人)	%
1 はい、よく見たことがある。	16	10.1%
2 はい、時々見たことがある。	74	46.5%
3 いいえ、ほとんど見たことがない。	32	20.1%
4 いいえ、見たことがない。	37	23.3%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答4, を「いいえ」に分類

(無効回答5名)

◆お子様はおうちで高濱の授業の話をしていましたか？



高濱の授業自体に関しては、左の通り、75.9%の方が、生徒がご自宅で授業に関して話していた、と回答している。昨年度も75.5%という割合だったので、子どもの性格にもよるであろうが、約4分の3の生徒は、授業の様子について保護者の方に何らかの形で伝えていることがわかる。

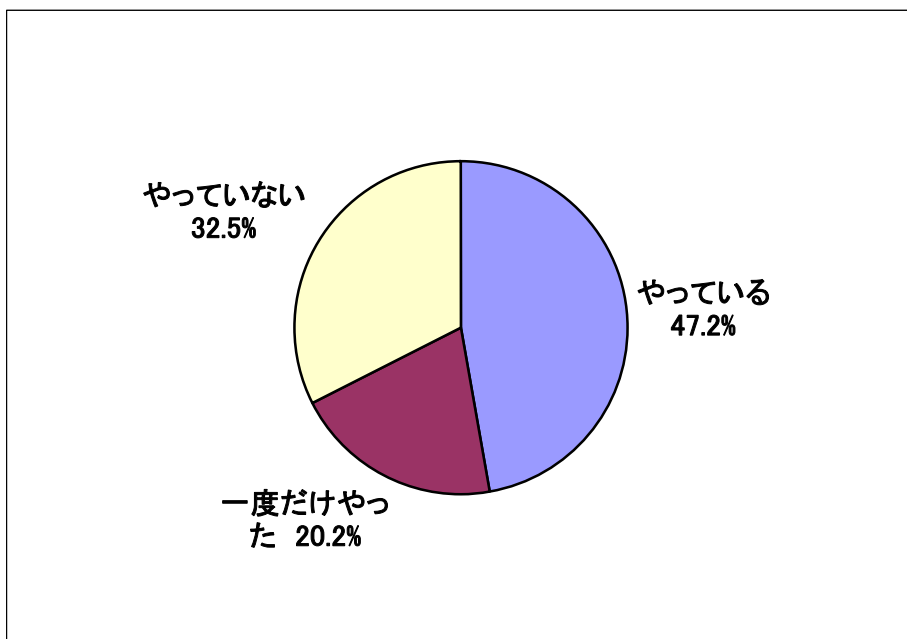
回答	人数(人)	%
1 はい、楽しそうに授業の話をしていた。	56	34.6%
2 はい、授業の話をしていた。	67	41.4%
3 いいえ、ほとんど授業の話をしたことがない。	32	19.8%
4 いいえ、一度も授業の話をしたことがない。	7	4.3%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答4, を「いいえ」に分類

(無効回答2名)

◆ご自宅で、授業で行った内容を一緒にやったことはありましたか？



しかしながら、昨年度に引き続き、授業内容の定着という観点から見ると、保護者アンケートにおいても、ご自宅で授業の内容をもう一度見直すという形は決して高いとはいえない。子ども達の自由回答からは、授業内容のなぞペーを「おうちで家族総出で一緒に楽しく解きなおしている」という回答と共に、「宿題をやっているとやるのを忘れてしまう」「時間がなくてできない」などという回答もある。保護者の回答の割合は、生徒の回答とほぼ同じ割合を示している。

回答	人数(人)	%
1 はい、いつもいっしょにやっている。	10	6.1%
2 はい、たまにいっしょにやっている。	67	41.1%
3 はい、一度だけやったことがある。	33	20.2%
4 いいえ、やろうと思ったことはあるが、実際やったことがない。	28	17.2%
5 いいえ、やったことがない。	23	14.1%
6 いいえ、やったことがないし、やろうと思ったこともない。	2	1.2%

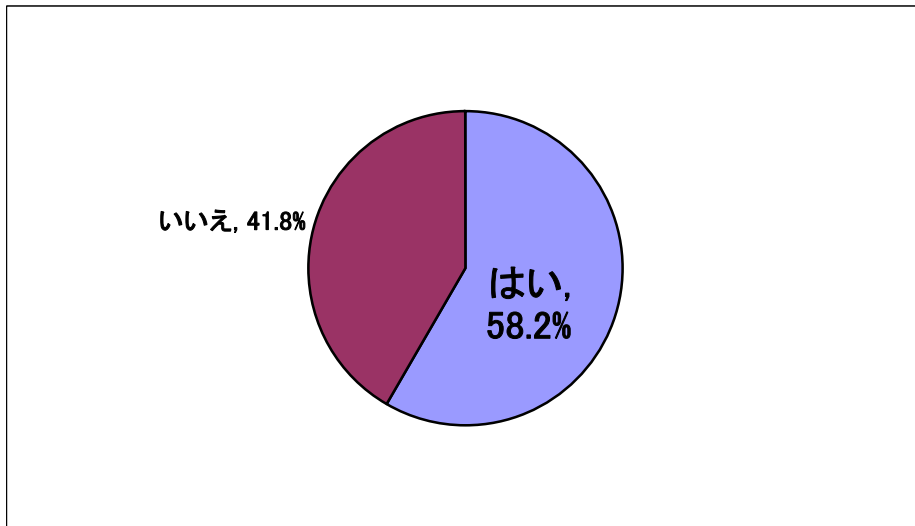
※回答1, 2, を「やっている」に分類

※回答3, を「一度だけやった」に分類

※回答4, 5, 6を「やっていない」に分類

(無効回答1名)

◆一つの問題を考え抜くことや、パズルをたのしむことなど、この一年で子どもに何らかの変化があったように感じたことはありますか？



左のグラフの通り、58.2%の保護者が、例えば、「応用問題に対して、考えてみよう、やってみよう、という姿勢が見られるようになった」「集中力がついたように思う」「自分の力で頑張るようになった」などと、子ども達に、何らかのプラスの効果があったと回答している。

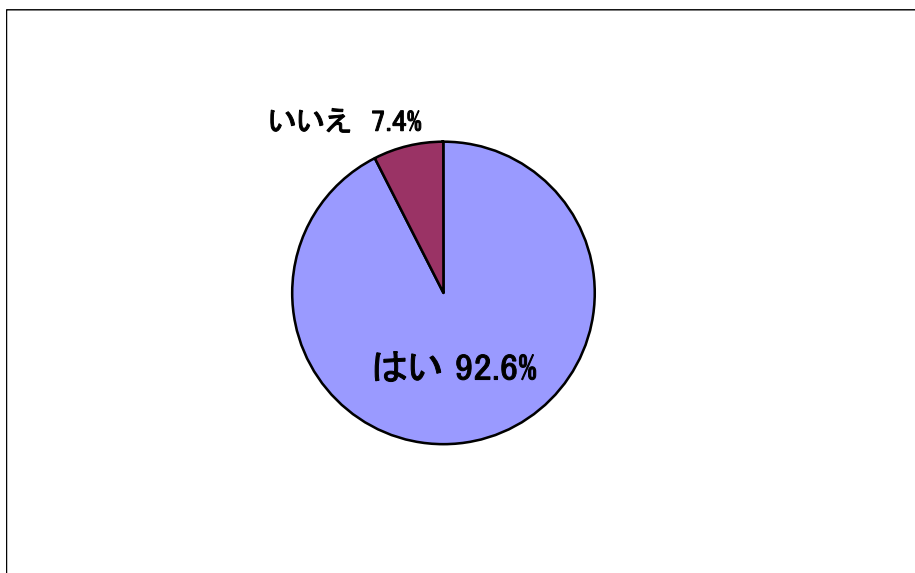
回答	人数(人)	%
1 全くない。	6	3.8%
2 ほとんどない。	60	38.0%
3 変わったと感ずることがたまにある。	77	48.7%
4 変わったと感ずることがある。	15	9.5%

※回答1, 2, を「いいえ」に分類

※回答3, 4, を「はい」に分類

(無効回答6名)

◆今年度は、子どもたちの基礎学力向上の為の新たな試みとして、年三回の「花まる漢字検定」を導入させていただきました。このことをご存知でしたでしょうか？



2008年度の新たな試みの1つとしては、花まる漢字検定の実施がある。担任の先生方&保護者の方の多大な協力のもと、子ども達自身が目標を持って取り組み、花まる漢字検定に挑戦した。

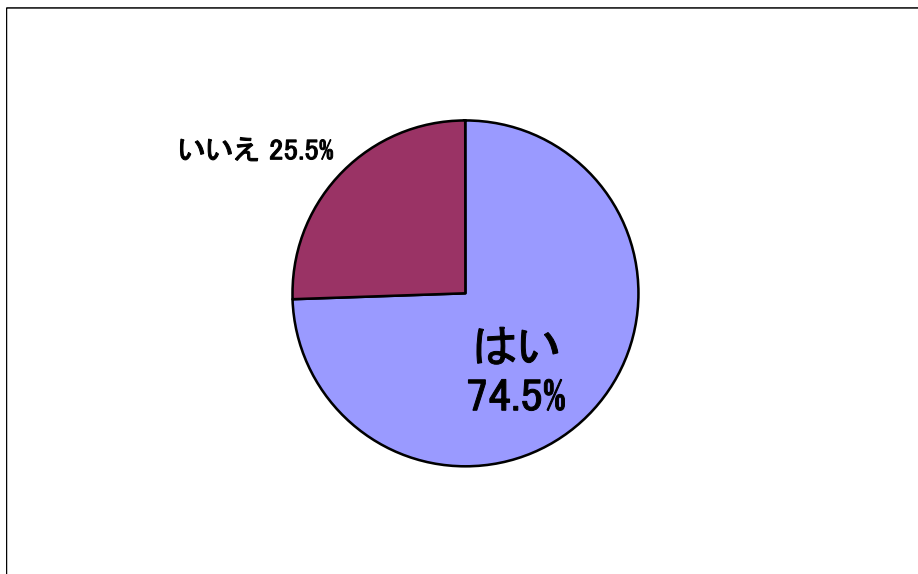
花まる漢字検定とは、前学年の必修漢字を、3分割して、学期末ごとに行う漢字検定のことを言う(例えば、2年生は1年生の範囲の漢字の検定を行う)。

この試みに関しては、多くの方が導入されたことをご存知であるという結果が出ている。

回答	人数(人)	%
1 はい	150	92.6%
2 いいえ	12	7.4%

(無効回答2名)

◆実際に、子ども達が漢字検定のための練習を行っているのを、
ご覧になったことはありましたか？



そして、実際にこの検定のために、子ども達が自宅で練習している姿を74.5%の保護者の方がご覧になっていることがわかる。

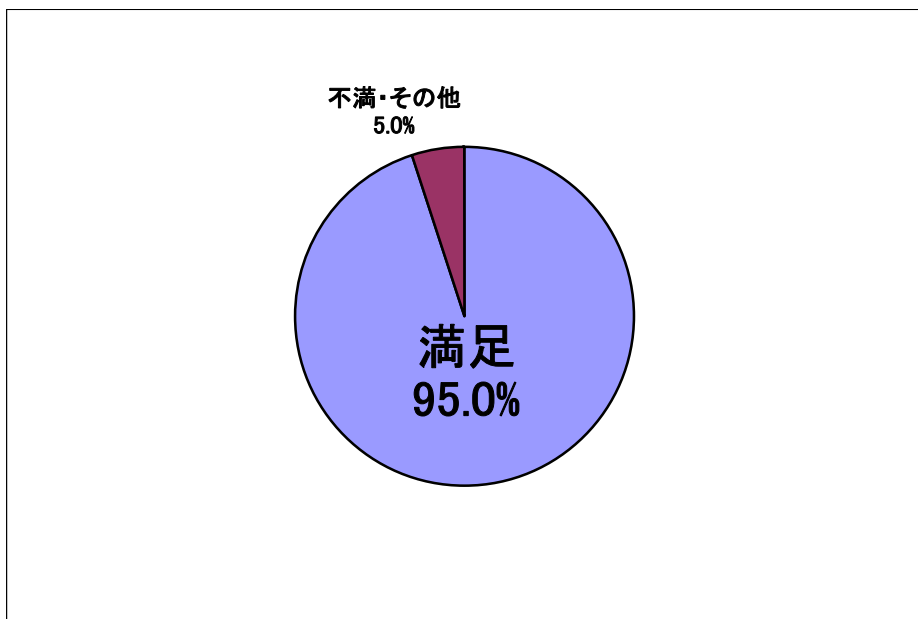
回答	人数(人)	%
1 はい、よく見たことがある	71	44.1%
2 はい、時々見たことがある	49	30.4%
3 いいえ、ほとんど見たことがない	26	16.1%
4 いいえ、見たことがない	15	9.3%

※回答1, 2, を「はい」に分類

※回答3, 4, を「いいえ」に分類

(無効回答3名)

◆総合的に見て、この1年間の高濱の授業はいかがでしたか？



以上のような結果から、95%もの方が子ども達の様子などから、総合的に見て、この1年間の高濱授業に「満足」と答えている。

3年間を通じて、毎年 of 保護者の満足度は常に95%以上あることから、保護者の方からの高濱授業への評価は非常に高いと言えるだろう。

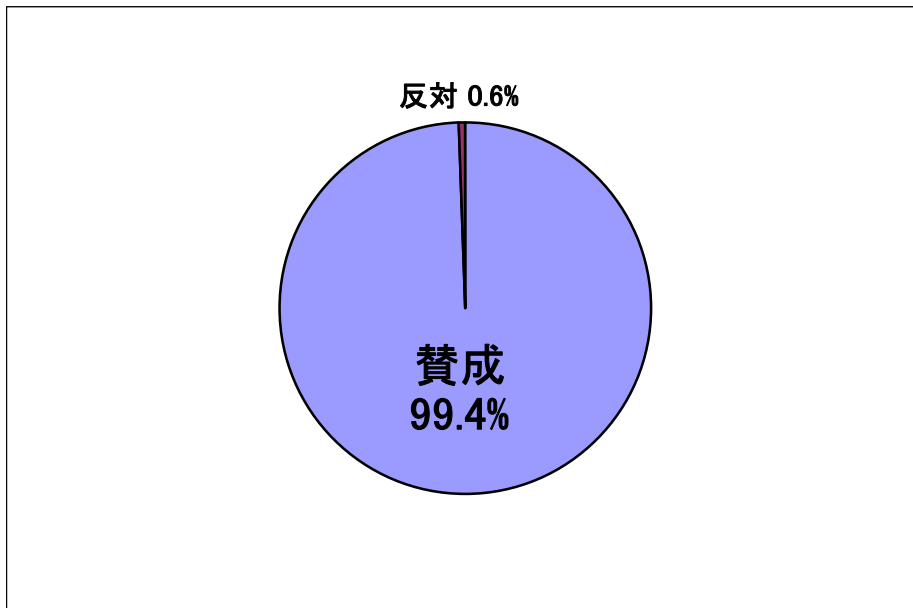
回答	人数(人)	%
1 大変満足している。	52	32.7%
2 満足している。	71	44.7%
3 どちらかといえば、満足している。	28	17.6%
4 どちらかといえば、不満である。	1	0.6%
5 不満である	1	0.6%
6 大変不満である。	0	0.0%
7 興味がないので、なんともいえない。	6	3.8%

※回答1, 2, 3を「満足」に分類

※回答4, 5, 6, 7を「不満・その他」に分類

(無効回答5名)

◆来年からもこのような授業があることに対して賛成ですか？



そして、2009年以降も、このような高濱の授業があることに対しても、99.4%の方が「賛成」を表明した。

2006年度の賛成比率が「96.1%」2007年度の賛成比率が「98.5%」であったことを考えると、毎年の高濱授業に対して、多くの保護者の方が賛同しており、「思考力を育てる」と「基礎学力をつける」という主旨への期待度も高いことが伺える。

回答	人数(人)	%
1 賛成	158	99.4%
2 反対	1	0.6%

(無効回答5名)

2008年度の高濱授業では、昨年度(2007年度) & 一昨年度(2006年度)のアンケート結果より、引き続き日常的に思考力を育成するために、「手づくりなぞペー(パズル)運動」を推進をしつつ、年間の授業を行った。毎月手づくりなぞペー(パズル)を提出してくれたクラスもあり、年間では、昨年度をはるかに上回る、500作品以上の子ども達の手づくりなぞペー(パズル)が集まった。また、2008年度の新たな試みとしては、「花まる漢字検定」の導入が挙げられる。アンケートの自由記述回答からも、子ども達が目標に向けて頑張り、確実に成果が目に見えることに満足している様子が伺える。月1回の思考力を伸ばす高濱授業、そして漢字検定による基礎学力向上を伸ばす取り組みは、確実に結実してきていると言えるだろう。

このことから、2009年度の花まる学習会&青木小学校のコラボレーションでは、引き続き「やる気を出す」花まるメソッドを最大限活用してもらいながら、思考力の育成とともに、漢字等の、思考力の礎となる基礎学力強化の取り組みを、学校と家庭の協力のもと、積極的に行っていきたいと考えている。